



つながり

「公民館活動活性化ステップアップセミナー」

6月24日(金)に宇和島市の岩松公民館と清満公民館で開催されました。

講演 テーマ 持続可能な地域共生社会へのアプローチ

～地域の未来を拓く学び舎づくり～

(一社)キャンバス 専務理事 西村 久仁夫 氏

西日本豪雨災害の経験から、地域防災の大切さについて考えた活動や、社会総がかりで子どもたちを育むための学校と地域の絆づくりについて講話いただきました。その中で、資金調達や人づくりなどについても話していただき、今後の公民館活動の参考になりました。



分科会 令和5年度の愛媛県公民館研究大会の研究テーマである、「家庭教育支援」「青少年・若年層」「地域学校協働活動」「地域防災」の4つの実践発表がありました。

① 「山のひろば」を活用した家庭教育支援〈西予市〉

自然体験活動を通して豊かな感性を養い、心身共にたくましい子どもが育つよう、公民館が中心となり毎年行われている活動です。地域ぐるみで子どもを守り育てることにより、子どもたちは自分の地域に誇りや愛着を持ち、地域の方は情報交換ができる場となっています。



② 青少年市民協働センター事業(Horibata)〈宇和島市〉

若者の居場所や活動場所、世代を超えた交流の機会を持つために行われている事業です。若者の声やニーズを若者自身が実際に具現化できるように、仕組みを整えています。ふるさと宇和島を未来に繋げていくことを目的にし、若者が地域づくりについて考えていくことに繋がっています。



③ 「地域学校協働活動」を推進する公民館〈伊方町〉

公民館がタケノコ堀り体験や竹細工作り、将棋教室を企画し、地域の方と子どもたちが交流できるようにしています。地域で子どもたちを育てていけるように、工夫して活動しています。地域の人とともに活動することで、学校・家庭・地域の連携を深める一助になっています。



④ 城廻自治会自主防災活動〈内子町〉

自主防災の意識を高めるために、地域住民や地元消防団が協力して活動を行っています。自治会内に8つある区それぞれで、危険な場所を確認したり、避難経路を確認したりすることで、意識が高まっています。地域住民と共に活動することで、災害に強い地域防災になっています。

研究協議 それぞれの発表の後、5～6人のグループに分かれてペーパートークを行いました。事前に自分の考えを付箋に書くことで、目的意識を持って話合いに臨め、自分の考えを伝えることで、考えを深めることができ、活発な話合いになりました。